



## 表紙のことば

10月10日～12日に市内各所で五穀豊穡を祝う秋祭りが行われ、129の自慢の山車や屋台が引き回されました。

梅山の八幡神社では、恒例の稚児流鏑馬が行われ、馬上からのめがけて矢を放ちました。見事、矢が命中すると観客から拍手と歓声がおくられました。

このほかにも、地域ごとにいろいろな歴史や文化が感じられる祭りが繰り広げられ、太鼓や祭囃子や威勢の良い練り、掛け声が響いていました。

## 市民の動き

人口/86,861人 (前月比+19人)

(外国人登録者4,169人含む)

男性/43,851人 (前月比+19人)

女性/43,010人 (前月比+0人)

世帯数/30,692世帯 (前月比+50世帯)

平成20年10月1日現在



2008年(平成20年)11月1日発行 第87号

編集・発行/  
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係  
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1  
TEL 0538-43-2111 (代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

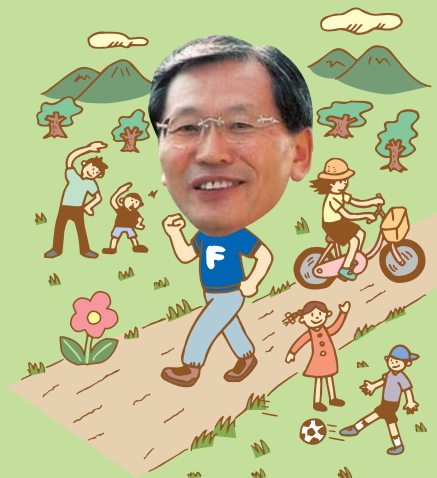
[hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp](mailto:hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp)

**R100** 古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 原田市長の

さんぽみち

# 散歩道



袋井市歌を作詞した谷山浩子さんのコンサートが先月、月見の里学遊館で開催された。谷山さんは、市歌を作った時の思い出を語りながら数多くの歌を透き通るようなきれいな声で歌い、会場いっぱい詰り掛けた皆さんを魅了した。

3年前の秋、市歌を作るために袋井へ来て、「コスモス畑やお寺、海や川を見歩いた谷山さんと夕食を兼ねて懇談した。袋井の感想を「メロンやお茶がおいしいまち、気取らない人と自然が家族のように一体化しているまち」と語った。この印象が市歌で「人と自然が温かく寄り添い、豊かな時がゆっくり流れる」と表現されていて、私の最も好きな箇所だ。

上京した際に時折訪れる凸版印

## 「家族」

刷社長の足立直樹さんも袋井を離れて50年以上になるが、思いは似ている。冬の強いからっ風も敵としないで、心身を鍛え上げてくれた素材と考え、マキの垣根や東海道の松並木への強い思い入れとともに大勢の家族で過ごした袋井の日々を自分の原点としている。一

番多い時には私の家族が9人で、東隣の足立さんの家は7人だった当時の生活のことは、2人の共通話題だ。

家族の大切さを示す世論調査の結果が先日新聞報道されていた。望ましい暮らし方として「仕事よ

り家族の幸せを優先する」が81%、「個人の生き方より家族のきずなを大切にする」が71%、「三世代同居などの大家族で暮らしたい」が60%となっている。

戦後、我が国では、経済の発展を目的として、仕事で家庭より、個人が家族より優先されてきた。

しかし近年、私たちは「幸せとは何か」を考えた時、失われた家族のきずなながらも大切なものであったことに気づき、今それを取り戻すことを望んでいる。

幸い袋井には三世代同居の家庭も数多くあり、家族のまとまりを大切にしている。これからの豊かさや幸せを求めて、袋井らしい「家族像」を作り上げていきたいと思う。